

4年間の一般質問とその後（抜粋）

質問した議会	質問項目	その後
平成19年 6月	入札制度における総合評価方式の検討について	平成23年度から実施予定。
	市は市内の各大学と提携し、社会人聴講講座を積極的に支援できないか	公開講座のPRなど一部実施済みです。
	市有地における境界確定の実態について	相続などの時期に徐々に解決していくことになりました。
平成19年 9月	緊急地震速報システムの導入に向けた検討はどこまで進んでいるか	この質問の後、平成22年度中に整備完了する予定です。
	認定こども園、一時保育、病後児保育等の保育サービス拡充の進捗状況について	この質問の後、次世代育成支援行動計画に盛り込まれました。
	市役所西通り上水本町地区における安全なバス停の設置について	バス停の安全確保は事業者の責任とのことで対策は講じられていません。
平成19年 12月	指定管理者制度導入後の事業の評価と今後の方向性について	この質問の後、評価制度による評価を実施しました。
	上水新町1丁目西部地域における諸問題について	交通対策問題は一部解決しましたが、立川市の清掃工場の問題は全く解決に至っていません。
	学童クラブの今年の状況と今後の動向について	当面、学童クラブ費の値上げはしないこととなりました。
	国民健康保険証の送付について	不在による市役所への返送があまりにも多かったため、不在時の連絡票に「小平市役所保険年金課」と記載してもらうこととなりました。
平成20年 3月	市立保育園等の耐震化について	平成21年度から3年計画で耐震診断を実施しています。その後、必要に応じて耐震補強や建て替えをおこなっていきます
	市がこうむった損害に対する賠償請求の考え方について	必要な措置は取るということでした。
	裁判員制度が始まる前に自治体として準備すべきことは	秘書広報課にパンフレットを置くなど、市は周知に努めています。

平成20年 6月	病後児保育室の利用状況と今後の施策について	利用者が少ないことから広報していくことになりました。
	学童クラブの保育時間を現状の18時から19時に延長できないか	平成23年度から2か所のクラブで実施予定です。
	救急車トリアージ制度の小平市の現状について	救急医療の東京ルールをPRしましたが、あまり効果はなかったようです。
平成20年 9月	花小金井駅北交差点の歩行者安全確保対策について	信号機設置は交通管理者である警察の判断ということで、設置に至っていません。
	国保加入者の特定健診は市外医療機関で受診を	平成21年度から国分寺市と相互乗り入れが可能となりました。
	USBメモリー紛失事故を受け、さらなる小・中学校職員室のIT化を進めるべき	教員一人一台のパソコン整備によって課題は解決しました。
	生活保護の住宅扶助費は被保護世帯への直接給付以外の選択もできるよう改善を	都営住宅で実施済み。民間住宅はこの質問の後、検討中しています。
	市が当事者となった裁判の状況を公表すべき	市議会には報告していますが一般への公表は非常に消極的です。
平成20年 12月	市政の新たな課題に対する市長の決意はいかに	結果として、小林市長が二期目の市長選挙に出馬する決意を促すこととなりました。
平成21年 3月	マニフェストに掲げた50の個別政策の実現状況と市長の評価はいかに	私たち会派の採点では100点満点中82点でした。
平成21年 6月	一時預かり事業の法制化による課題は何か	この質問の後、課題は解決しました。
	再び、国保加入者の特定健診は市外医療機関でも受診可能にすべきである	東村山市、東大和市の担当課と検討中です。
	大好評だった小平ベリー商品券の市民生活への効果はいかに	この質問の後、追加発行を実施しました。
平成21年 9月	民間事業者のアイデアにより保育園待機児童の解消を	この質問の後、市立保育園の建て替えによる定員増を実施しました。
	新型インフルエンザの備えは十分か	体調不良時の施設利用やイベント参加の自粛を呼びかけました。

	小平市内における振り込め詐欺の実態とその対策について	市民まつりなどのイベントで呼びかけ、その後、振り込め詐欺撲滅宣言をおこないました。
平成21年 12月	市は都市計画や災害復旧に備え地籍調査を進めるべき	実施に向けて条件を整理しています。
	しょうがい者の移動手段としての三輪自転車の購入費助成を	三輪自転車の規格が制度化されていないため、購入費用の助成には至っていません。
	放課後子ども教室推進事業の検証について	平成21年度実績では、10校で1,828回実施し、50,510人の児童が参加しています。平成25年度までに全小学校で実施予定です。
	商大橋北詰丁字路交差点の横断歩道の安全対策について	交通管理者である警察の判断待ちの状態です。
平成22年 3月	小平市国民健康保険事業の運営は適切だったか	保険料を少しずつ値上げせざるを得ない状況です。
	ふるさと納税により小平市の個人市民税は影響されたか	クレジットカードによる納付方法を検討するとともに、市の魅力についてもPRしていくことになりました。
	小・中学校の周年式典の目的と効果は何か	子どもたちや保護者に負担がかからないように配慮することが明確になりました。
	期せずして迂回ルートを実行したにじバスの評価はいかに	にじバスのルート変更は困難ですが、新たに銀河鉄道パスが運行を開始しました。
平成22年 6月	公金による負担金支出先の団体運営は適切に行われているか	負担金支出先の団体は132団体あり、その中の2割が負担金相当額よりも繰越金をため込んでいるということが分かり、予算編成の際に見直すこととしました。
	保育所児童保育要録は子どもたちにとって有効に活用されているか	新しい制度なのでまだまだ有効に使われているとは言えません。
	一方通行路の多い地域の安全対策について	逆走が大きな事故に繋がることから、その対策を求めましたが、実施には至っていません。

	福祉会館駐車場の駐車枠を広げてほしい	路面補修の際に整備することとなりました。
平成22年 9月	学校における個人情報の管理は改善されたか	せっかく教員一人一台のパソコンを整備しても個人の認識に依らなければならないのであれば、それなりの対策が必要です。
平成22年 9月	長期休業期間中に学童クラブで給食を実施できないか	費用の問題から困難であるようですが、食育という観点から必要なもので、今後も働きかけていきます。
	学校等で児童などが受傷した場合の医療費の負担について	本人が窓口で医療費を負担する必要がないことをもっと周知していかなければなりません。
平成22年 12月	市立小・中学校の歯科検診は適切におこなわれているか	機材が古いため精度の高い検診が実施困難だったことから、順次、機材の更新をおこなうことになりました。
	市民総合体育館や中央公民館図書館の駐車場をさらに利用しやすく	今後は有料化も視野に入れ、いかにして適正利用がはかれるか検討することとなりました。
	福祉会館五階はいつそのことダンススタジオにしてはどうか	ダンススタジオにはできないようですが、床材の張り替えや照明の改善はおこなうことになりました。
	電子媒体による文書管理の方向性はいかに	電子化しても原本を保管しなければならないというお粗末ぶりです。
	市が借り受けている借地の賃料は適切か	多摩地区の自治体では、固定資産税+都市計画税の3倍という慣例があるようです。